

第4回OICI薬薬連携セミナー

がん治療の一環としての 栄養管理

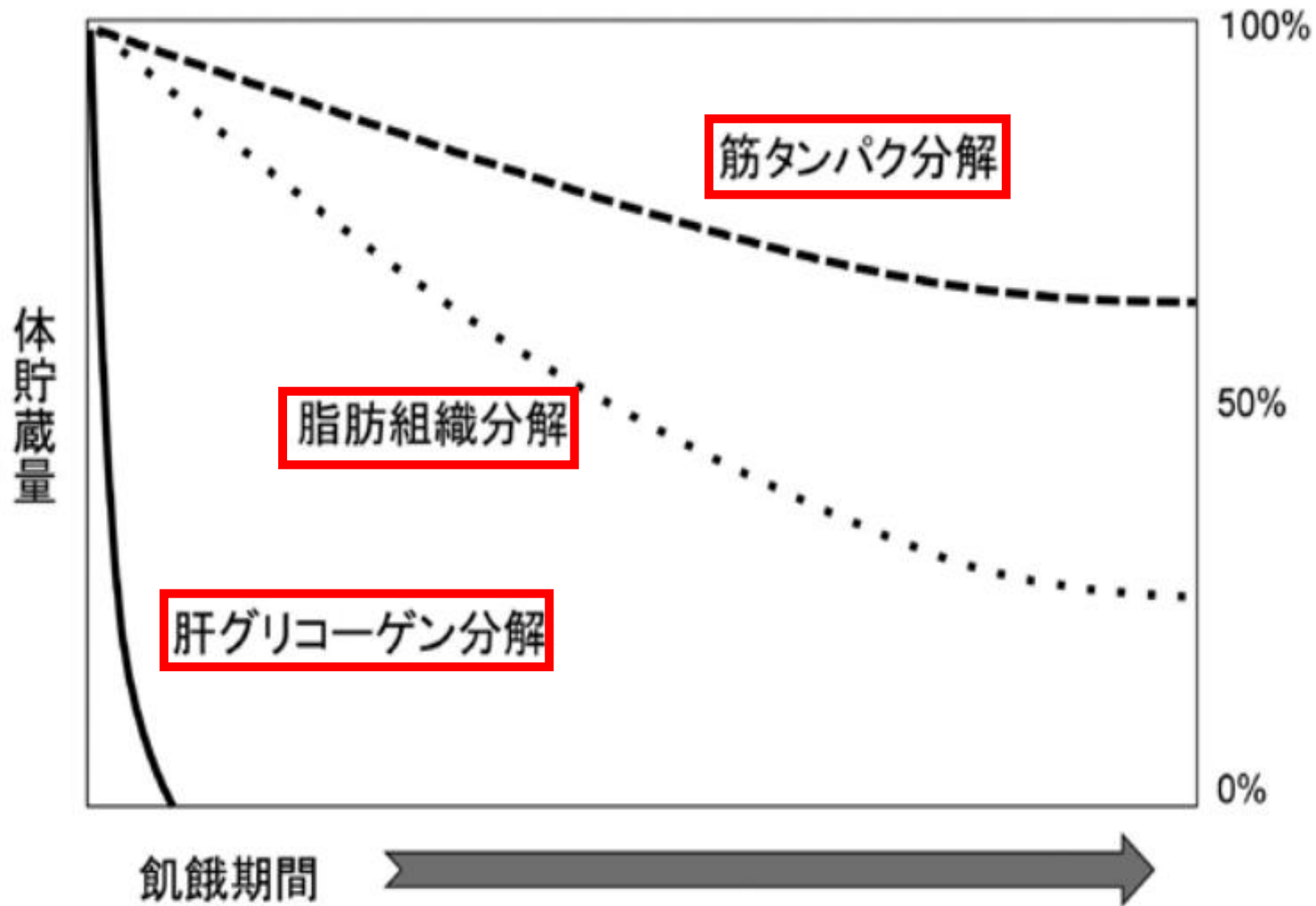
2023年9月20日

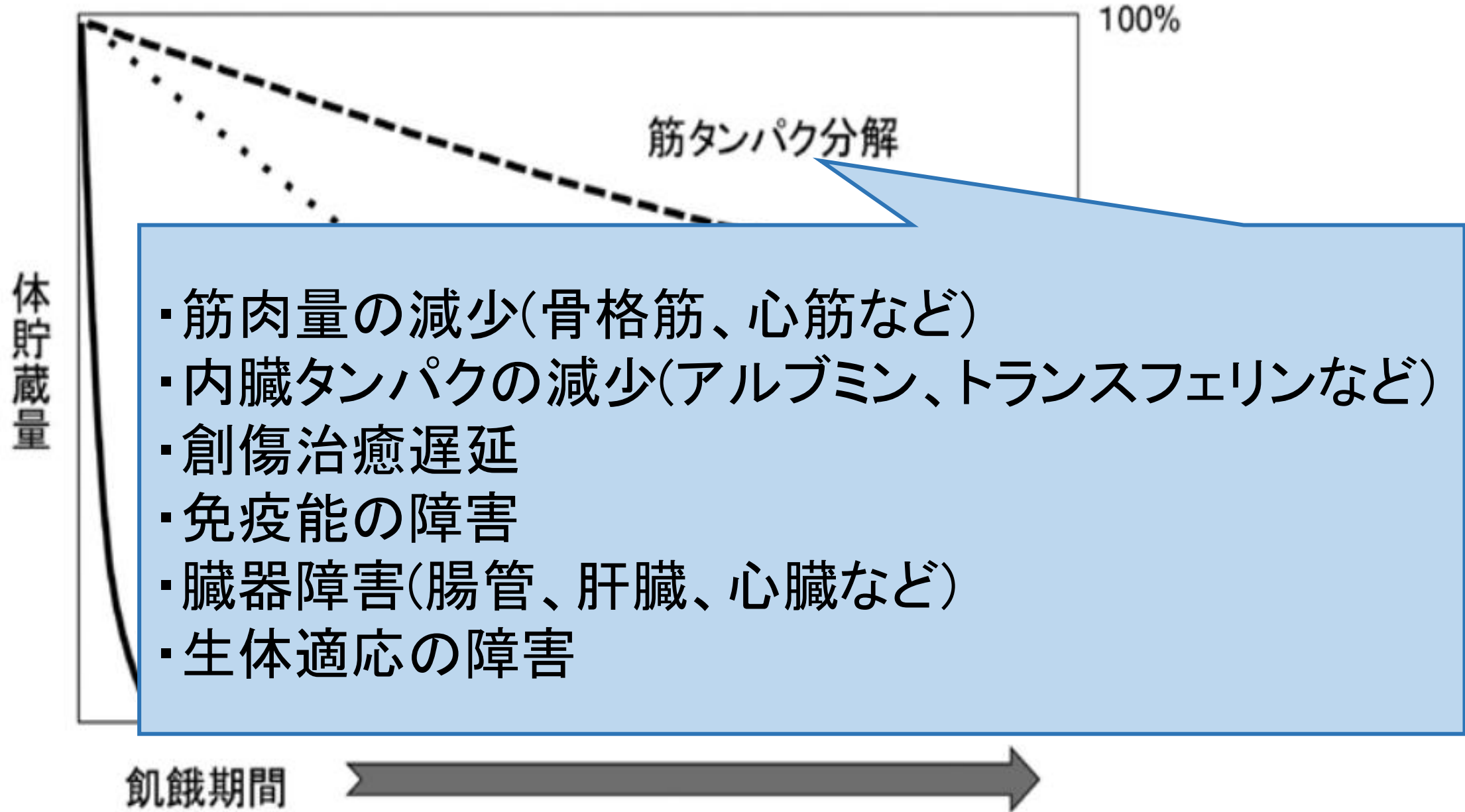
大阪国際がんセンター 薬局

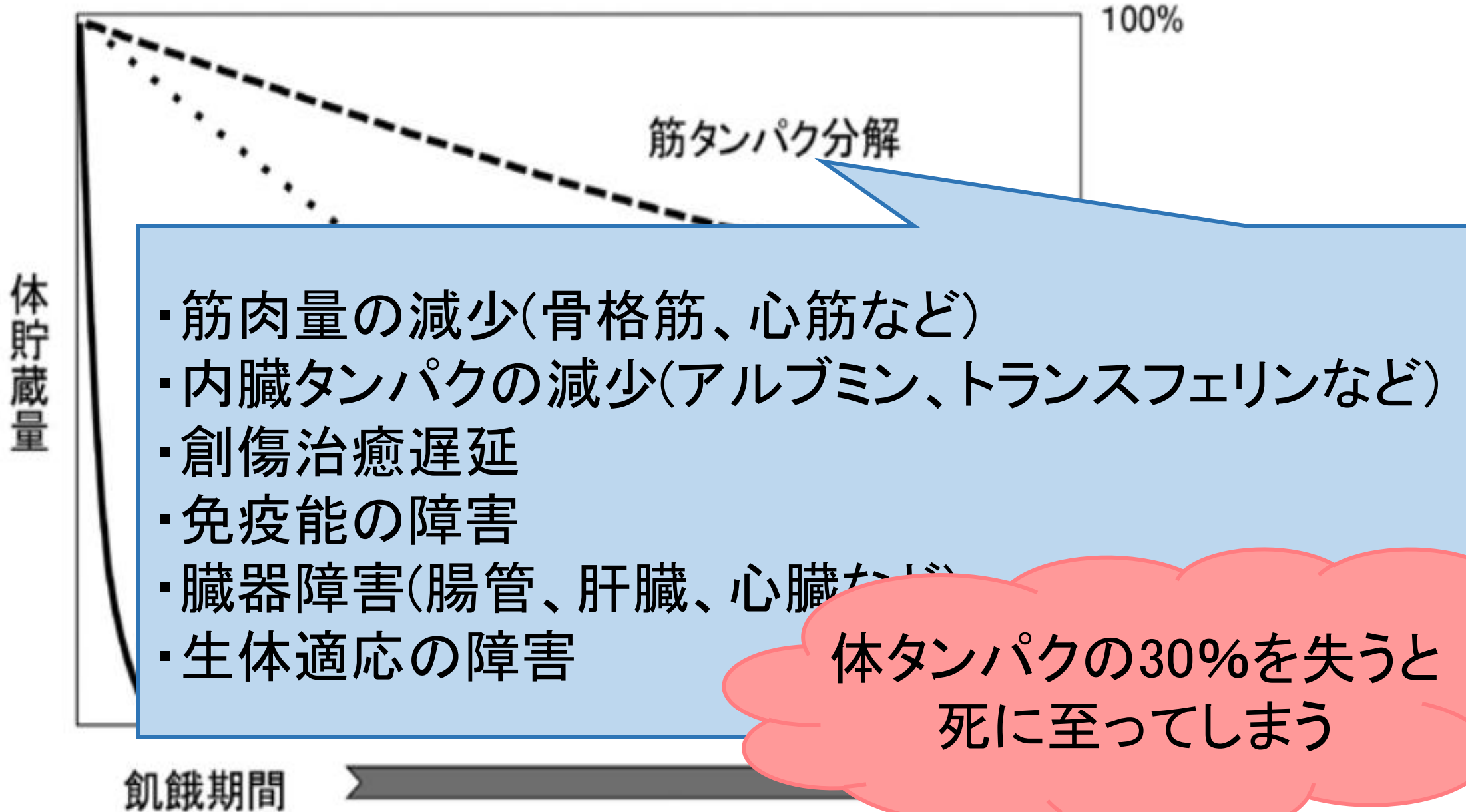
野崎圭佑

栄養管理は、なぜ必要？

- 栄養管理は、すべての治療の土台となる
- 栄養状態が不良であれば、治療も有効でなくなる
- 適切な栄養管理は、予後の改善に寄与する
- 不適切な栄養管理は、予後に悪影響を及ぼす







担がん患者の栄養状態

◆がん関連性体重減少

- ・消化管の狭窄や閉塞、消化液の分泌障害
- ・腫瘍からの出血や体液喪失
- ・告知に伴う摂食不良

治療(手術・化学放射線療法)による副作用 など

適切な栄養管理により、
栄養状態の改善が期待
できる！

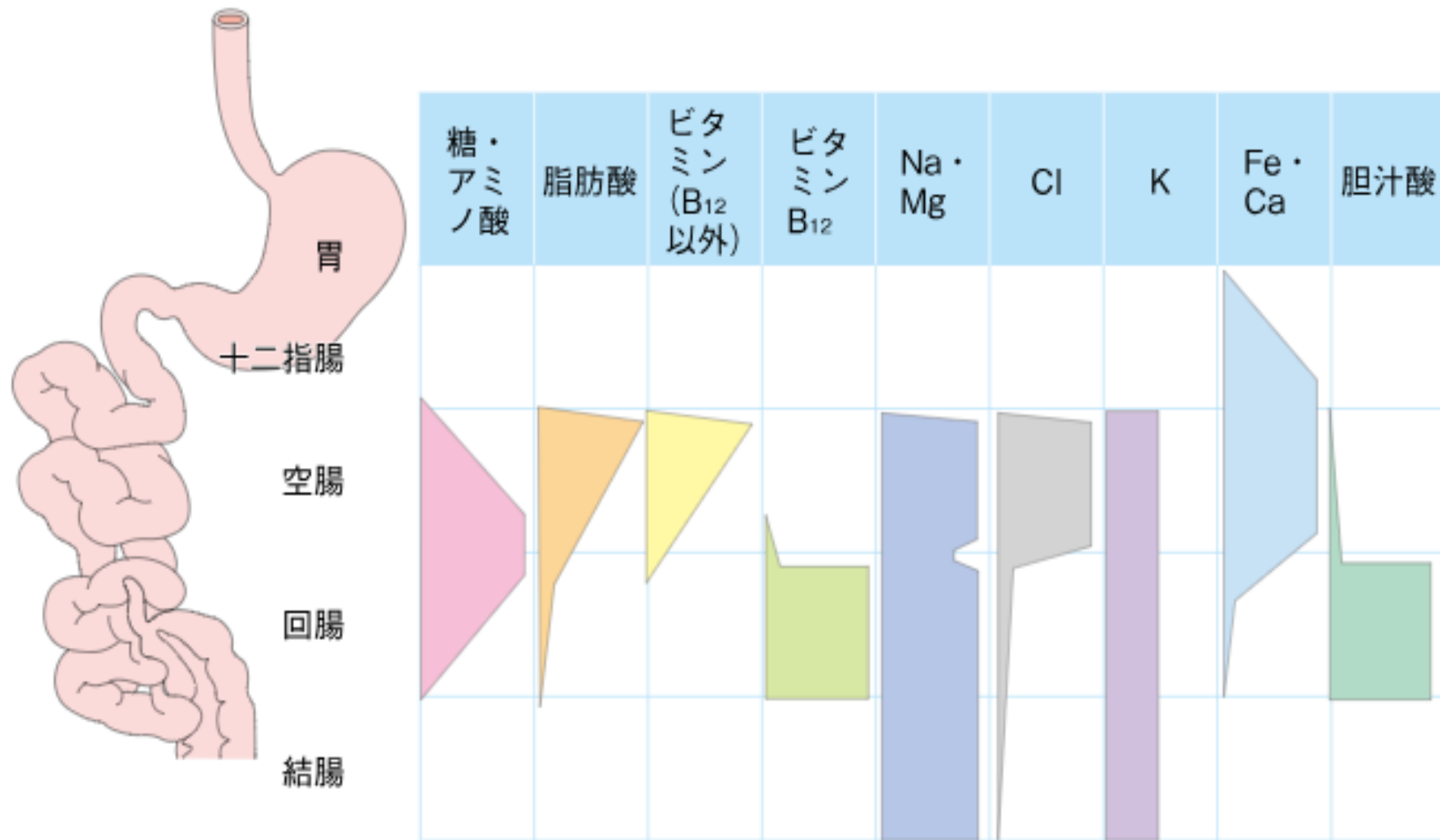
◆がん誘発性体重減少

- ・がんそのものにより惹起される代謝異常 など

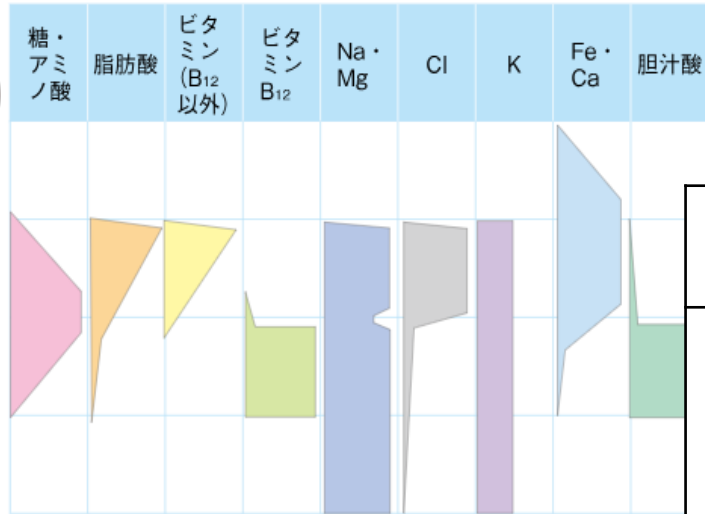
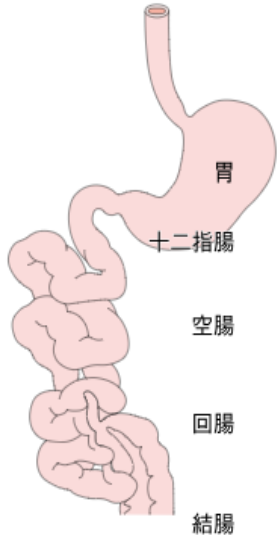
栄養管理による改善は、困難

👉 体重減少の要因は、単独で存在することは少ない。
病状や治療介入により、2つのバランスも日々変化する。

術後に考えられる栄養障害



術後に考えられる栄養障害



	栄養障害を引き起こす要因
食道切除	嚥下困難 Feの吸収障害
胃切除	1日経口摂取量の減少 Fe、Ca、VB12の吸収阻害
膵切除	消化能の低下 耐糖能の低下

化学(放射線)療法による副作用

- 悪心・嘔吐、食欲不振
- 口内炎
- 下痢、便秘
- 血球減少、発熱性好中球減少症
- 倦怠感、関節痛・筋肉痛

●悪心・嘔吐、食欲不振

- ・食べ物において

 - 冷たい食事、香辛料を利かせた食事を試す

- ・食事、水分摂取量の低下

 - 経口的栄養補助を試す

 - 水分摂取を意識してもらう

 - 嘔吐を伴う場合、さらに注意が必要といえる

☞ 普段の食事摂取量(必要なエネルギー量)の60%に満たない場合、積極的な栄養管理の実施を必要とする。入院加療が必要になることもある。

●口内炎

- ・塩、酢などの刺激が疼痛を助長させる
→塩味の代わりとして、お出汁を利かせる

- ・熱い食事も刺激となる
→体温に近い温度の食事にして、刺激を緩和させる

- ・食べ物が物理的な刺激となる
→1口大サイズ、流動性の良いもの(豆腐、プリンなど)を選ぶ

☞痛みが強く経口摂取を拒否する場合、
消化管に異常がないのであれば経管栄養法も検討する。

経腸栄養剤の分類

		成分栄養剤	消化態栄養剤	半消化態栄養剤
窒素源		アミノ酸	ジペプチド、トリペプチド	タンパク質、ポリペプチド
脂質		極めて少ない	少ない	多い
消化機能		不要	一部必要	一部必要
残渣		なし	少量	多量
食物繊維		なし	なし	あり
代表例	医薬品	エレンタール® ヘパンED®	ツインラインNF®	エンシュア・H® ラコールNF® エネーボ® イノラス®
	食品	-	ヘプタメンAF® ペプチーノ®	メイバランス® インスロー® リーナレンMP®



1.5kcal/mL

375kcal/缶

250mL/缶

水分量 78%

エンシュア・H®

- 味の種類が豊富
- 高濃度タイプの経腸栄養剤の中では薬価が安い
- 必須微量元素のうち、Cr、Mo、Seは含まれていない



1.0kcal/mL

200kcal/袋

200mL/袋

水分量 85%

ラコールNF®

- 脂質の割合が少なく、日本人の食事内容に合っている
- 粘度が低く、経管投与時にチューブがつまりにくい
- 胃瘻からの投与であれば、半固形製剤も選択できる



1.2kcal/mL

300kcal/缶

250mL/缶

水分量 81%

エネーボ®

- アミノ酸の含有量が多い
- Cr、Mo、Seなどが含まれている
- 味がバニラのみ



1.6kcal/mL

300kcal/袋

187.5mL/袋

水分量 75%

イノラス®

- 3本/日で1日の食事摂取基準を満たす
- ω3系脂肪酸やCr、Mo、Seなどが含まれている
- 水分量が少ない

各製品HP、添付文書より

最後に

- 栄養管理は、すべての治療の土台となる
- 栄養状態が不良であれば、治療も有効でなくなる
- 適切な栄養管理は、予後の改善に寄与する
- 不適切な栄養管理は、予後に悪影響を及ぼす